

各種センサーのマフラー内部環境腐食試験

自動車用マフラー内部(排気ガス)環境を模擬した凝縮水腐食環境で耐久性を評価します

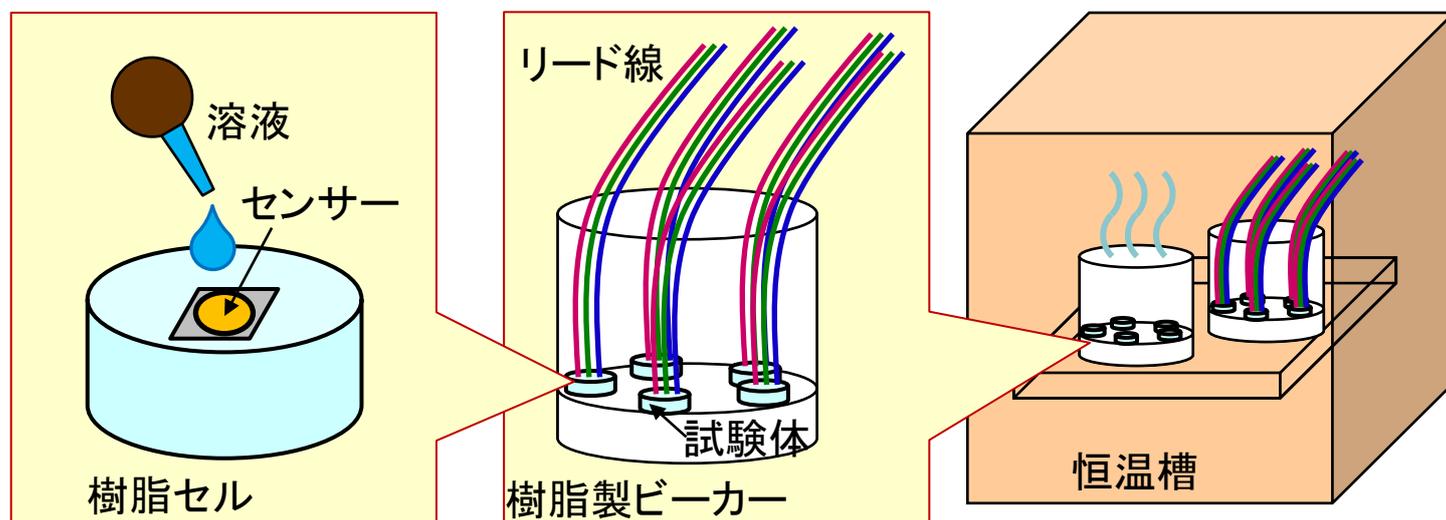
試験概要

- 従来、凝縮水腐食試験として、JASO M 611-92「自動車用マフラー内部腐食試験方法」に規定された試験が行われてきましたが、この試験は材料評価のための試験であり、基本的には板材を試験対象としています。最近では、半製品やセンサー等の部品に対する凝縮水腐食試験のニーズが増えてきており、当社でも、お客様の供試部材や使用環境に合った試験をご提案しております。

<p>溶液成分 (例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Cl⁻ ・ NO₃⁻ ・ SO₄²⁻ ・ CH₃COO⁻ ・ HCOO⁻ ・ F⁻ ・ CO₃²⁻ 	<p>各成分濃度 (例)</p>	<p>20~20,000ppm</p>
----------------------------	--	-----------------------------	---------------------

試験実施例

- センサーの環境暴露面のみを出して小型樹脂セルに埋め込み、その上に定期的に溶液の滴下と加熱乾燥を繰り返し、凝縮水腐食環境を模擬します。



その他の試験内容, 処理

- 腐食試験中の動作・通電状態を評価いたします(センサー出力の経時変化を記録)。
- 他の腐食環境(ヨウ素, 硫黄等)での暴露試験も実施できます。